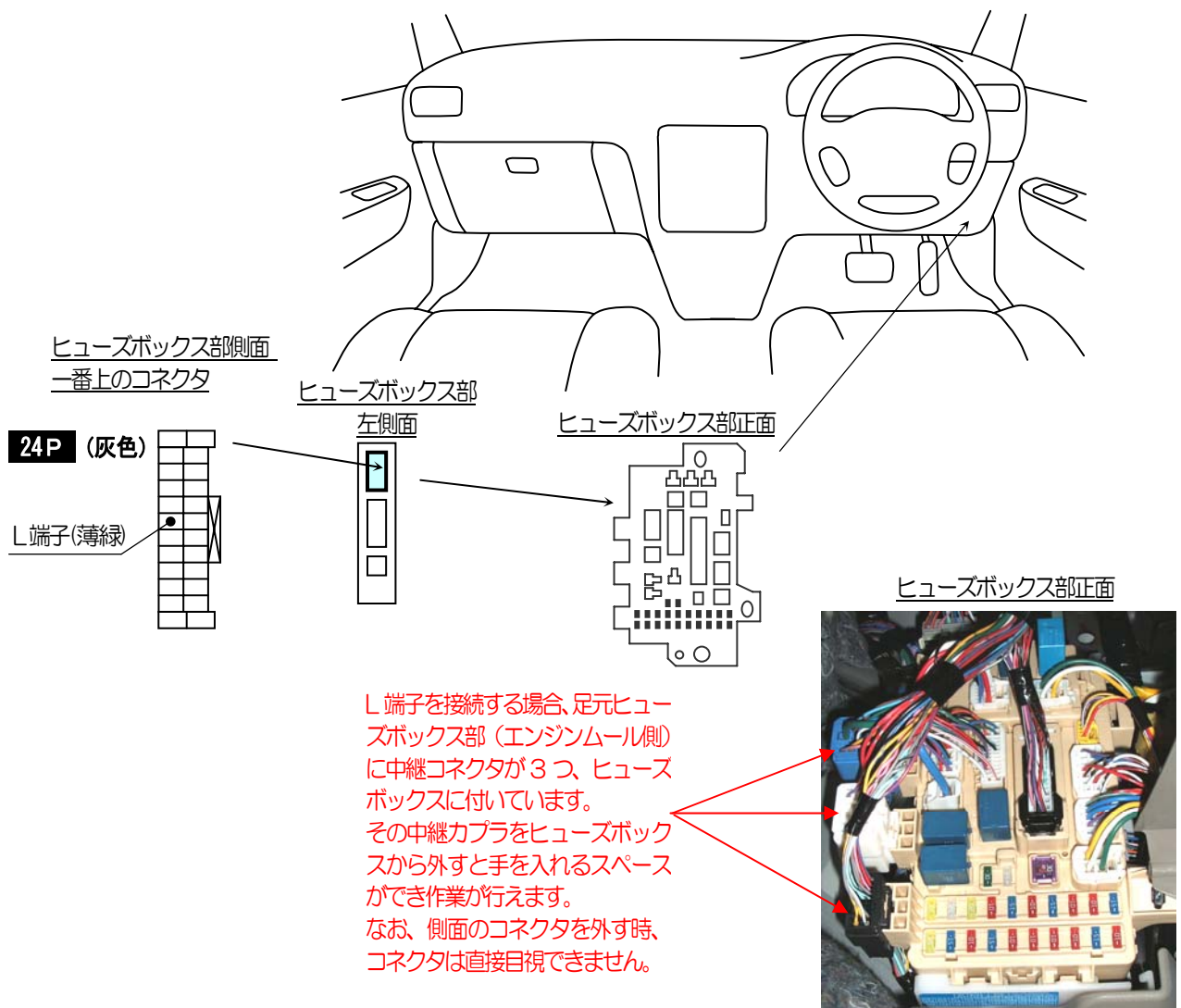


# 車種別接続情報

管理 No. S-0038 (1/8)

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルト ラパン	年式	H20.11~H25.6
専用ハーネス	S-117 & J-98		

- エンジンスターターで始動を行うとメーター内マルチインフォメーションディスプレイに、「スタートシステム要点検」と表示が出ます。エンジンスターターの動作(アイドリング)を停止し、車輛本来の始動方法(プッシュスタートスイッチを押して)でエンジン始動を行うと表示は消灯します。乗車、走行する際は、必ずエンジンスターターを停止させ、車輛本来のエンジン始動方法で掛けなおしを行なってください。
- ドアロック制御の取り付けはできません。**  
エンジンスターターでのアイドリング中は、純正キーレスでのロック/アンロック操作ができません。  
車輛に乗車する際は、一旦リモコン操作でエンジンを停止させてください。
- ターボタイマー機能は使用できません。(設定は OFF のままご使用ください)



YUPITERU

Y13-0719

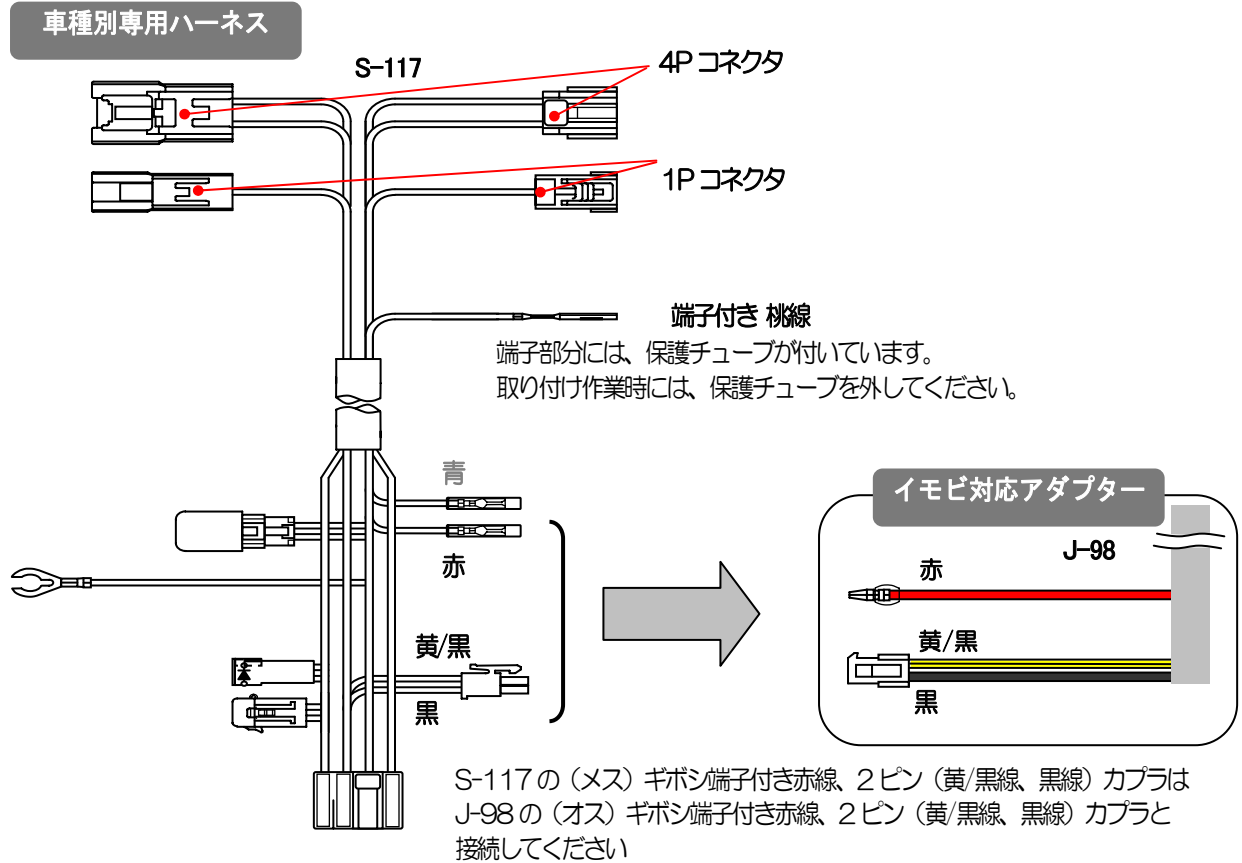
※ 車両によっては、上記の内容と異なる場合があります。取り付けの際は、必ず電圧などの確認を行ってください。

# 車種別接続情報

管理 No. S-0038 (2/8)

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H20.11~H25.6
専用ハーネス	S-117 & J-98		

## S-117の接続



### 接続手順

S-117の取り付け手順 (接続先は運転席足元ヒューズボックス部内となります)

1. S-117の1Pコネクタと4Pコネクタの接続
2. S-117の端子付き 桃色線の接続

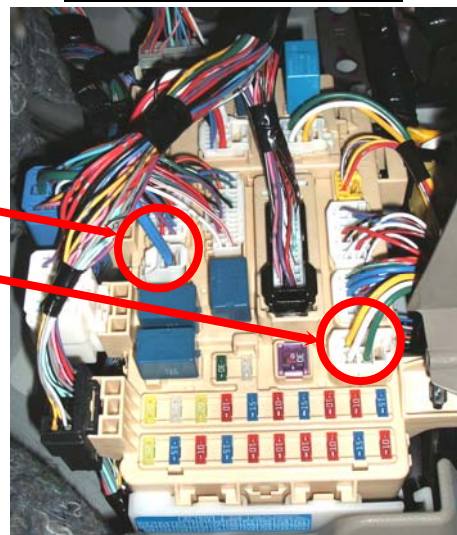
#### 1. S-117の1Pコネクタ、4Pコネクタの接続について

S-117 1Pコネクタ接続先

S-117 4Pコネクタ接続先

S-117の1Pコネクタ、4Pコネクタは、車輻のコネクタを外し、間に割り込ませ接続します。

#### 運転席足元のヒューズボックス部



**YUPITERU**

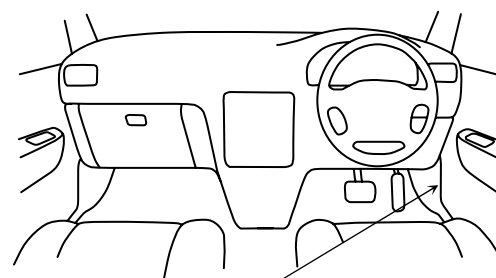
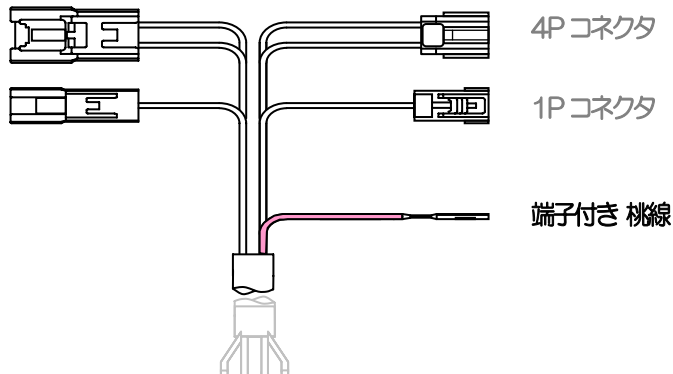
Y13-0719

※ 車両によっては、上記の内容と異なる場合があります。取り付けの際は、必ず電圧などの確認を行ってください。

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルト ラパン	年式	H20.11~H25.6
専用ハーネス	S-117 & J-98		

## 2. S-117の端子付き桃色線の接続について

### 車種別専用ハーネス



運転席足元のヒューズボックス部

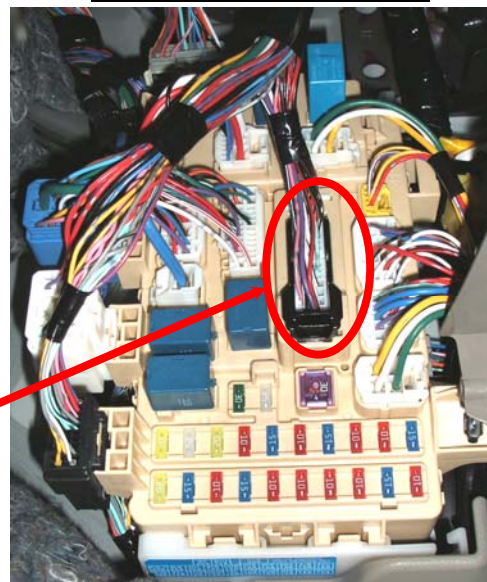
### S-117 端子付き桃線の接続について

右記写真の（レバー付き）コネクタに配線を接続します。  
下記の手順でコネクタに配線を差し込む準備を行います。

#### 作業手順

- レバーを引き起こし、コネクタを外す
- レバー部分をコネクタから外す
- コネクタ（側面）のリテーナーを浮かす
- S-117の端子付き桃線をコネクタに差し込む
- 外した手順と逆の手順で元に戻す

S-117 端子付き桃線の接続先  
（レバー付きコネクタ）

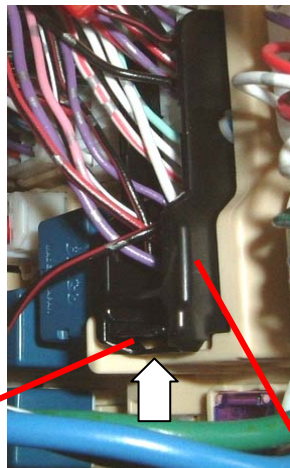


← エンジンルーム側

#### A. レバーを引き起こし、コネクタを外す

レバーのロックを（写真矢印の方向に）外しながら、レバーを約45度まで起こします。  
コネクタをヒューズボックス部から取り外します

ロック



レバー



# 車種別接続情報

管理 No. S-0038 (4/8)

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H20.11~H25.6
専用ハーネス	S-117 & J-98		

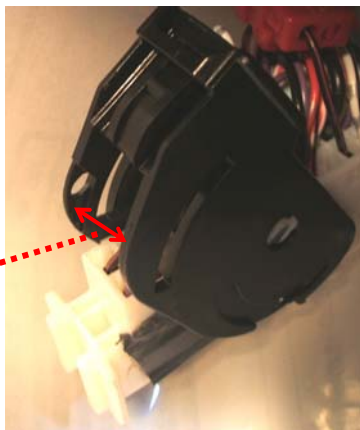
## B. レバー部分をコネクタから外す

レバーの両側を広げてツメを外しながら、レバーを約90度まで起こします。



ツメ (左右両面に有ります)

左右に広げる  
レバーの両側を広げてツメを外す。



約90度起きた状態

レバーを約90度まで起こしたら、レバーの側面(左右)にあるカギ穴とコネクタのツメを合わせ、コネクタからレバーを外します。

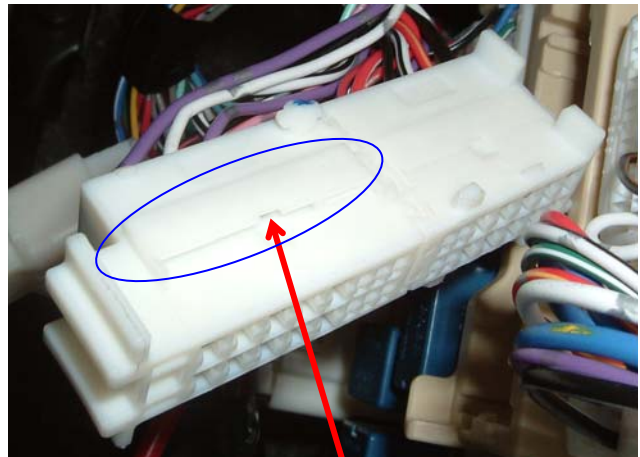


カギ穴

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルトラパン	年式	H20.11~H25.6
専用ハーネス	S-117 & J-98		

### C. コネクタのリテーナーを浮かす

コネクタ側面にあるリテーナーに先の細い精密ドライバなどを押し当て、リテーナーを浮かせます。  
(リテーナーを浮かせないとS-117の端子付き桃線がコネクタに差し込めません)



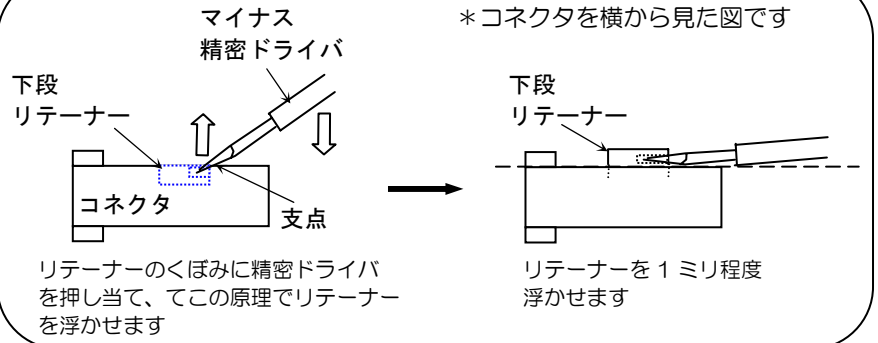
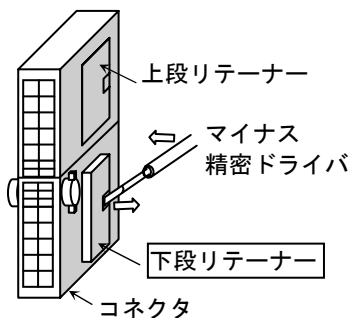
\*青丸部分 下段リテーナー

#### <注意事項>

- ・無理に力を掛けしないでください。リテーナーが破損する可能性があります。
- ・リテーナーは本来、コネクタから外れません。コネクタから外れると元に戻りません。
- ・リテーナーを引っ張らないでください。

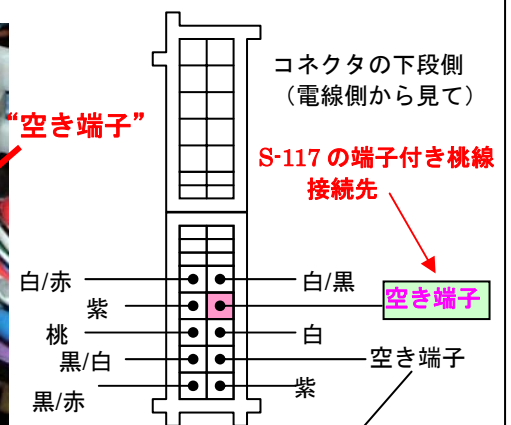
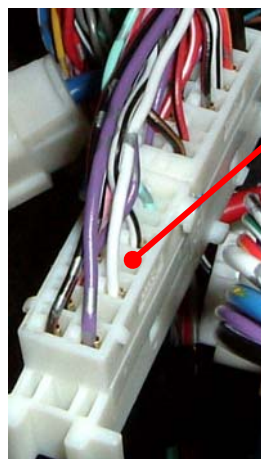
この部分に精密ドライバなど先の細いものを押し当て、てこの原理でリテーナーを浮かせます。(1ミリ程度浮くようにします)

#### リテーナーの浮かせ方(てこの原理を使用した方法)



### D. S-117の端子付き桃線をコネクタに接続する

右の写真(空き端子)の場所にS-117の端子付き桃線を差し込みます。  
(端子付き桃線についている保護チューブを取り外してから差し込んでください)



#### S-117 端子付き桃線の接続

- ・端子位置、周りの配線色を確認し、確実に作業を行ってください。
- ・端子の向きが合っていないとコネクタに挿入できません。
- ・「カチッ」と音がするまで差し込みます。差し込んだ後、軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

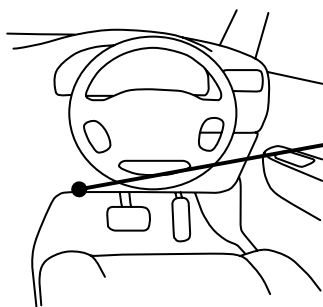
車輛装備品により配線の有無が異なる  
空き端子になっている場合、  
間違えないようご注意ください

メーカー	スズキ	車体型式	HE22S
車種	アルト ラパン	年式	H20.11~H25.6
専用ハーネス	S-117 & J-98		

### E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

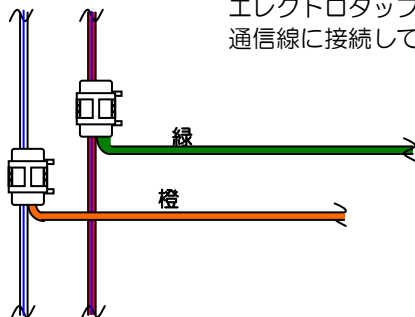
- ・リテナーを元に戻します。(浮かせたリテナーを押し込みます)  
→リテナーが元に戻らない場合、配線が奥まで差し込まれていません。
- ・コネクタにレバーを取り付けます。  
→取り外した手順と逆の手順でレバーを取り付けます。
- ・コネクタをヒューズボックスに取り付けます。  
→取り付け後、軽くコネクタを引っ張り確実に接続されていることを確認します。

### J-98の接続

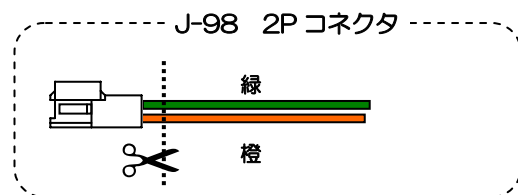


ステアリング左下に故障診断コネクタがあり、故障診断コネクタの通信線にJ-98を接続します。

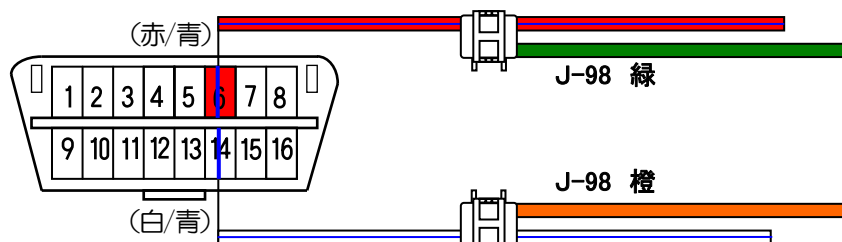
#### 車両の通信線



J-98 白色2P (緑線・橙線) のコネクタ部を切断し、エレクトロタップを使用して車両故障診断コネクタの通信線に接続してください。

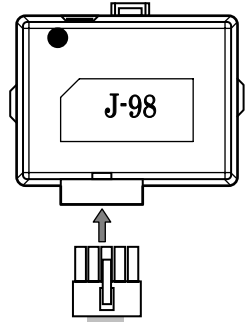


#### 故障診断コネクタ (接合面から見て)

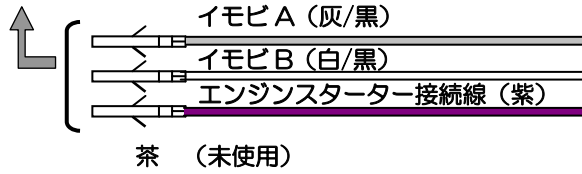


# イモビ対応アダプターJ-98と車種別専用ハーネス、エンジンスターター側への接続

## イモビ対応アダプター

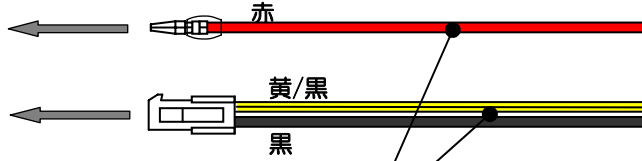
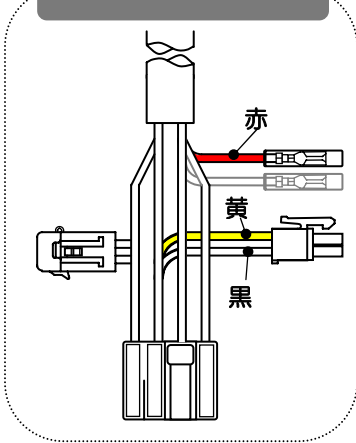


エンジンスターターのセンサーハーネスに挿入します。  
(接続位置は下記ご参照ください)



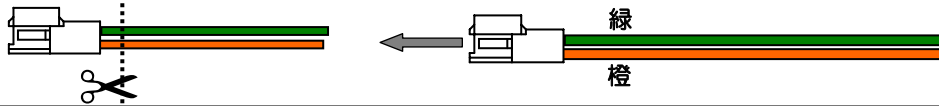
使用いたしません 絶縁テープで末端処理をしてください

## 車種別専用ハーネス

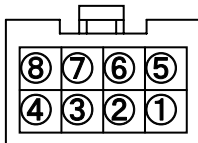


車種別専用ハーネスに接続してください。

2Pコネクタ部をカットし車輻に接続します  
(接続先は J-98 の接続でご確認ください)

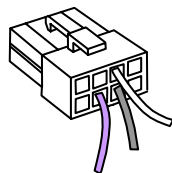


## センサーハーネスが8ピンタイプでの接続

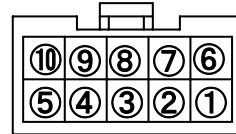


スターターユニットのセンサーハーネス (コネクター2) が 8ピンのコネクタ

- ② 端子...イモビ対応アダプターの灰黒線を接続します
- ⑥ 端子...イモビ対応アダプターの白黒線を接続します
- ③ 端子...イモビ対応アダプターの紫線を接続します。

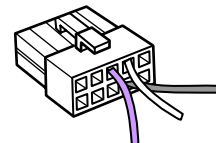


## センサーハーネスが10ピンタイプでの接続



スターターユニットのセンサーハーネス (コネクター2) が 10ピンのコネクタ

- ② 端子...イモビ対応アダプターの灰黒線を接続します
- ⑦ 端子...イモビ対応アダプターの白黒線を接続します
- ⑧ 端子...イモビ対応アダプターの紫線を接続します。

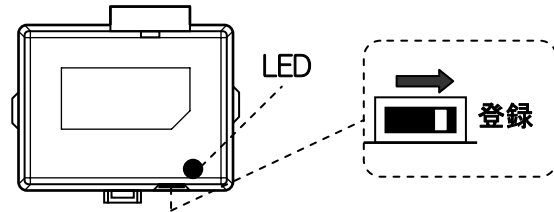


## イモビ対応アダプターJ-98の登録

エンジンスターター、J-98 取り付け後、エンジンスターターの初期設定パーキング (P)・ポジション検出を行います。その後、イグニッション電源 (IG) が OFF であることを確認し、以下の手順で登録作業を行います。

### 登録手順

- 1** 登録スイッチを 『登録』 側に切り替えます。  
赤点滅 → 橙点滅 → 遅い緑点滅 に変化します。



- 2** LED が遅い緑点滅に変化したことを確認し、プッシュスタートスイッチ操作で IG ON にします。  
(電子キーを車輻に持ち込み、ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 2 回押すと IG ON になります)

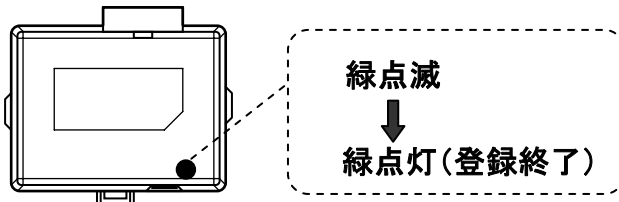
**\*必ず LED が緑点滅に変化してから IG ON にしてください。**  
**緑点滅する前に IG ON にした場合、ID 登録できません (登録ができない場合、下記 ★印を参照ください)**

- 3** LED が遅い緑点滅から速い緑点滅に変化したら、10 秒以内にプッシュスタートスイッチ操作で OFF に戻します。  
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 1 回押すと OFF に戻ります)

**\*LED が緑の速い点滅に変化後、10 秒以上 IG ON の状態が継続すると LED が赤点灯 / 緑点滅に変化しイモビ ID の登録ができません。**  
**(登録ができない場合、下記 ★印を参照ください)**

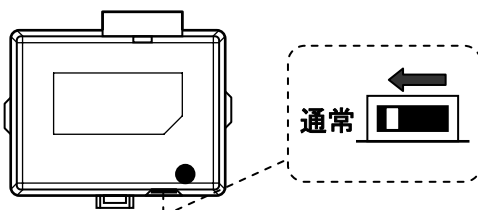
- 4** 再度、プッシュスタートスイッチ操作で IG ON にします。  
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 2 回押すと IG ON になります)

LED が速い緑点滅 → 緑点灯に変化します。



- 5** プッシュスタートスイッチ操作で OFF に戻します。  
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを 1 回押すと OFF に戻ります)

- 6** 登録スイッチを 『通常』 側に戻します。



### ★ 手順2、手順3で登録ができなくなった場合

一度リセット操作をする必要があります。  
IG を ON から OFF に戻し、登録スイッチは「登録」側のまま J-98 のハーネスの抜き差しを行い、手順 **2** からやり直してください。  
(ハーネスの抜き差しを行うと、LED が赤点滅 → 橙点滅 → 遅い緑点滅に変化します)

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。